



2018. 12. 21
No.77

universe

発行：福島市国際交流協会
〒960-8601 福島市五老内町3番1号
(福島市定住交流課都市間交流係内)
TEL 024-525-3739 FAX 024-533-5263
E-MAIL: teijyuu@mail.city.fukushima.fukushima.jp
HP : http://www.f-ifa.jp/

ふれあいネットワーク事業 実施報告!

11月 日中友好記念講演会

11月24日(土)にAOZで、「日中友好記念講演会」を開催しました。福島学院大学の呂学如准教授からこれまでの福島市と中国との交流について、懐かしい写真をたくさん使用したパワーポイントで説明していただきました。20年以上、中国から日中農業技術交流研修生を受け入れていただいた農家の方にもご参加いただき、当時のことを振り返ることのできた講演会となりました。



◀講演会では、懐かしい写真がたくさん!

▶受入農家や、中学生海外派遣事業の引率者の皆さんにお越しいただきました。



インドネシア料理教室

12月



◀美味しく料理をいただきました!

12月9日(日)にAOZで、「インドネシア料理教室」を開催しました。コムニタス福島インドネシアの星レニーさんを講師にお招きし、鶏肉のカレー、ガドガド(インドネシアのサラダ)、テンペの天ぷら、バナナの天ぷらを作りました。たくさんの香辛料とココナッツミルクを使ったカレーは、普段食べるカレーとは異なり、インドネシアの風味を感じることができ、大変美味しくいただくことができました。

▶初めて作る料理に、参加者の皆さんも真剣そのもの。



12月 国際理解講座 地球体験キャラバン

12月16日(日)に福島テルサで、「国際理解講座 地球体験キャラバン」を開催しました。福島県国際課の国際交流員と県費留学生、ふくしま青年海外協力隊の会からモザンビークなどに派遣されていた元協力隊の方々に、クイズを出してもらったり、協力隊へ行った時の活動や途上国での暮らしなどについてのお話を聞きました。参加した中学生からは「いろんな国について知る良い機会になった」などの意見があり、学校では学ぶことのできない大変良い経験になりました。



◀◀国際交流員と青年海外協力隊OB・OGの皆様、貴重なお話ありがとうございました!



Fukushima and Me part.3 ～ルイーズさん、福島で聞いてみた～

イスラム教について 質問してみました！

普段皆さんが接することの無いイスラム教。今回は、私 キャロル ルイーズが、福島市在住のイスラム教徒であるインドネシア出身の星 レニーさんと、青年海外協力隊でマレーシアに行っていた中鉢典子さんに、イスラム教についてのインタビューをしてみました！



▲インタビューのキャロル・ルイーズさん(左)
青年海外協力隊でマレーシアに行っていた中鉢
典子さん(中)、インドネシア出身の星レニーさん
(右)

キャロル：それでは、皆さん自己紹介をしていただいてもよろしいでしょうか。

中 鉢：中鉢典子です。福島には4月から住んでいます。その前は約2年間青年海外協力隊としてマレーシアのサラワク州立図書館で働いていました。その仕事は子供と村人たちが図書館に来て知識を得てもらったりコミュニティーを作ったりするためのイベント等を開催しました。現在は子育てしながら、国際交流に興味を持って、月に一度仙台でのハラルクッキングパーティーを開催しています。

レニー：レニー サムスティンです。サムスティンはファミリーネームで、日本で星さんと結婚したので、今は星 レニーです。日本には20年以上住んでいます。初めて日本に来たのはJICAの研修生としてでした。そのときは1年間埼玉県の理科学研究所でバイオテクノロジーコースを勉強しました。そのあと留学生をして、星さんと結婚して日本へ戻って、ずっと福島に住んでいます。最初は会津坂下、それから会津若松、そして2000年代に入ってから福島市へ引っ越し、ずっとここに住んでいます。

キャロル：ありがとうございます。
それではそれぞれの国のイスラム教の状況について、簡単に説明していただけますか？

レニー：インドネシアはムスリムの人が多いですが、インドネシアはイスラム教の国ではありません。インドネシアの人のおよそ85%がムスリムですが、それでもキリスト教や仏教など他の宗教の信者もいて、他の宗教の信者もインドネシアで安全に生活することができます。

中 鉢：イスラム教の国というのは、全員がイスラムを信じていなければならないということですか？

レニー：政府の法律の元がコーランからできている国がイスラム国家です。インドネシアはイスラム国家ではありません。もちろん神様を信じてコーランに沿って生きている人が多いですが、法律はコーランに沿っていない法治国家です。

キャロル：マレーシアはどうですか？

中 鉢：マレーシアもほとんど同じです。種族・民族がたくさんあるので、マレーだけじゃなくて、中国系マレー、インド系マレーそして他の原住民もいますので、ムスリムはもちろんコーランに沿って行動していますが他にも、キリスト教やヒンドゥー教などを信仰している人もいます。

キャロル：イスラム教は毎日の生活にどのような影響を与えていますか？

レニー：ムスリムは1日に5回お祈りしないといけないと皆さんは知っています。厳しくやっている人は状況に関わらずお祈りをしています。でも私の信じている限りでは、まずは神様を信じることです。お祈りについては状況に適應できます。一番早いのはスブ、これはとても早く、朝3時頃です。次はジュフル、昼という名前で、12時頃です。それからアザールは午後3時半です。国によって異なるので、イスラムの時間を確認する必要があります。月だから、陰暦ですね。マグリブは6時頃。それから夜は7：30頃のイサです。

レニー : 私の先生によると、例えば3時頃にお祈りができない場合は後でお祈りしても大丈夫です。

キャロル : レニーさんにとって、お祈りをするというのは、こういった意味を持つんですか？

レニー : お祈りというのは人の心を綺麗にするものであるはずですよ。悪いことを考えず、他の人に悪いことを言わない、他の人を傷つけない、それが私にとって本当のお祈りです。

キャロル : 毎朝3時に起きていますか？

レニー : 3時には起きていませんが、早くに起きています。まず起きたらお祈りをします。毎日の安全。自分、夫、家族の安全と皆さんの安全を祈ります。それから夜のお祈りはありがとうと祈ります。天国にいる私の両親と兄弟の平和・安全なども祈ります。

中 鉢 : 1日に5回のお祈りは、マレーシアでも同じです。あと私の聞いた話では、仕事でお祈りから遅くに帰ってきても、上司は叱ったりしないそうです。お祈りに行っていると言えば、お祈りしていなくても遊んでいても、上司は何も言えないのです。例えば、ただお話ししていたりしても。

レニー : それは自分の責任です。嘘を付けば、自分の責任になります。

中 鉢 : そうです、その人しか分からないんです。

キャロル : マレーシアの方が、ルールは厳しいんですか？

中 鉢 : マレーシアは大きく二つに分けることができます。一方は西マレーというマレー半島、もう一方はボルネオ島という東マレーシアです。

マレー半島では、マレー人と、中国人、インド人そして原住民もいます。各地域のルールは厳しいですよ。人が住んでいる場所も分けていますので。でもそれは各宗教をリスペクトする方法の一つです。習慣・文化が、かなり違いますので。そうやってお互い尊敬しています。

ボルネオは民族がたくさんいますので、マレーは原住民じゃないので、とても仲良く、昼ご飯は皆と一緒に食べます。例えば、ムスリムの人の前でもビールを飲むことができます。そうは言っても、ムスリムの方を尊重して、お酒は遠慮したりしますが。

レニー : インドネシアの状況は、ボルネオに近いと思います。でも、家族によって異なると思います。厳しい家族はコーランの言う通りにしないといけないと考えます。個人的な考えでは、いる場所に合わせないといけないと思います。皆さんも考え方はいろいろあります。ムスリムの人も変わってきています。

キャロル : どう変わったと思いますか？

レニー : 難しい質問です。何故なら、宗教は神様を信じることです。私の場合は、臨機応変に調整することが一番重要だと思います。

中 鉢 : 私のマレー語の先生で首都のクアラルンプールに住んでいた30代の女性は、ヒジャブは付けていなかったです。でも、ふる里へ帰っていた時は付けていました。

クアラルンプールの人たちはかなり寛容になっています。彼女はいろいろやってみたかったのだと思います。なぜ着なければならぬのか？なぜ食べるのが禁止なのか？ きっと禁止されていることをやってみたかったのでしょう。

レニー : イスラム教で女性は、髪の毛は主人にしか見せられない物で、他の男性に見せてはいけないということです。

私は他の人に傷つけるような行動でなければ、好きにすると決めました。これは私の考え方です。

時々私のコミュニティス福島インドネシアの人は、「何でヒジャブを付けてないの？」と聞きます。私の場合は、場所に合わせて付けています。宗教的なセシモニーであれば、私はヒジャブと長いセランドンという布を付けて髪の毛を見えないようにしています。



次号に
続きます！

洋画・洋書で英語を学ぼう

場所：A.O.Z 視聴覚室

時間：1月8日(火) 18:30~20:00

参加費：同右 定員：10名

内容：毎月洋画か洋書で英語を勉強します。来月は、「ラブ・アクチュアリー」を題材に勉強します。

対象：中学校卒業程度の英語力のある方

申込み：開催日前週の金曜日までに、福島市国際交流協会まで、電話かメールで

tel:024-525-3739

email: teijyuu@mail.city.fukushima.fukushima.jp



ALT・CIRと英語で話そう

場所：A.O.Z

時間：1月17日(木) 18:30~20:00

参加費：福島市国際交流会員：無料

留学生・学生：500円

一般：1,000円

(初回到協会入会金、以降参加費無料)

定員：5名(定員になり次第締切。初参加者優先)

内容：ALTやCIR(ルイーズさん)と一緒に英会話のレッスンをを行います。

申込み：同左

美味しい点心を作っちゃおう!

1月ふれあいネットワーク事業 点心を作ってみよう!



よう こんせい
▲叶 根先生



おいしそ〜♡



日本でも大人気の中華料理の点心。今回は中華料理の中でも有名な、チャーハン、八宝菜、エビチリを作りたいと思います♪皆さん、是非ご参加ください!

日時：1月20日(日) 9:50~13:30 場所：アオウゼ・調理室(MAXふくしま4階)

講師：福島中国伝統文化愛好会の皆さん

参加費：協会会員：500円 留学生・学生：500円 一般：1,000円

申込み：1月15日(火)までに、電話、FAX、メールで福島市国際交流協会事務局までお申し込みください。お申し込みの際には、氏名・住所・電話番号をお知らせください。

TEL: 024-525-3739 FAX: 024-533-5263

メール: teijyuu@mail.city.fukushima.fukushima.jp

2月ふれあいネットワーク事業

国際弁論大会

福島市で、英語学習者と外国をルーツにする方を対象に、国際弁論大会を開催します!それぞれの部門で1位を獲得した方には図書カード3,000円分の賞品もあります。皆さん、是非ご参加ください!

部門：1、中学生部門 2、高校生部門 3、大学生部門
4、Background speaker(2年以上海外経験のある方)
5、日本語部門(※日本語部門の審査は投票で行う。)

選考方法：●一次選考

1月11日(金)までに、協会HPからダウンロードして記入した申込書と、「世界と福島」がテーマの英作文(500~1000words。日本語部門の方は日本語の作文で800~1200字)を定住交流課(teijyuu@mail.city.fukushima.fukushima.jp)まで提出してください。結果は2月初旬にお送りします。

●二次選考

2月24日(日)13時30分から福島テルサ 3Fあぶくまで、英語(日本語部門の方は日本語)で自由なテーマで中学生：3分、高校生：3分、大学生：4分、Background Speaker：4分、日本語部門：3分スピーチをしていただきます。



福島市国際交流協会

検索